

持続可能な 暮らしやすいまちを目指して



2020.12.16

茅野市地域創生総合戦略有識者会議

スーパーシティ構想とは

データの連携により地域課題の解決を目指す国の新たな
国家戦略特区※

※「国家戦略特区」

“世界で一番ビジネスをしやすい環境”を作ることを中心に、地域や分野を限定することで、大胆な規制・制度の緩和や税制面の優遇を行う規制改革制度

「スーパーシティ」構想について（具体像）

■ 以下のような領域（少なくとも5領域以上など）を広くカバーし、**生活全般にまたがる**

①移動、②物流、③支払い、④行政、⑤医療・介護、⑥教育、⑦エネルギー・水、⑧環境・ゴミ、⑨防犯、⑩防災・安全

■ 2030年頃に実現される未来社会での生活を加速実現する

■ 住民が参画し、住民目線でより良い未来社会の実現がなされるよう、**ネットワークを最大限に利用する**



「スーパーシティ」構想（データ連携基盤）

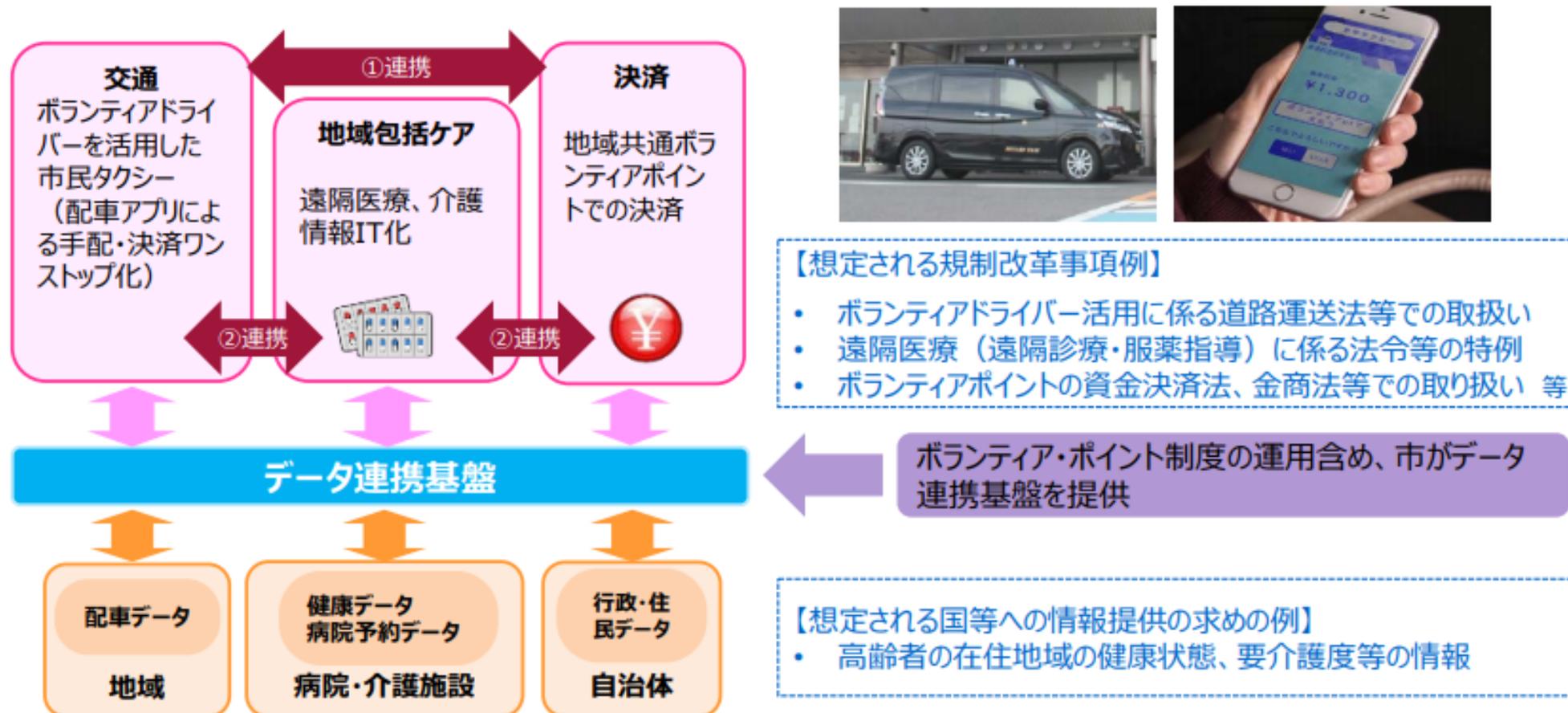
スーパーシティは、様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「データ連携基盤」を軸に、地域住民等に様々なサービスを提供し、住民福祉・利便向上を図る都市。



(*1) API : Application Programming Interface

(*2) データ分散方式を推奨。必要に応じてデータ蓄積も許容。

- A市では、免許を返納した後期高齢者が急増。減少するタクシーとその料金の高さから、通院を断念する高齢者の増加も予想されている。
- このため、①高齢者の通院等の足として、市民の車等も活用したボランティア・タクシー事業を、タクシー事業者自ら廉価に展開。その支払手段として、ボランティア活動によってポイントが貯まり、市からも個別に補助を行える地域電子通貨を発行。その他の行政サービスの支払いや地域貢献活動などとも広く連携。
- 加えて、②通院予約や遠隔医療を積極的に活用した地域包括ケアなどとボランティア・タクシーの配車システムを連動させ、高齢者の適切な通院などを通じた社会保障費の抑制や地域交通の合理化を図る。



観光を起点とするB市のスーパーシティ構想

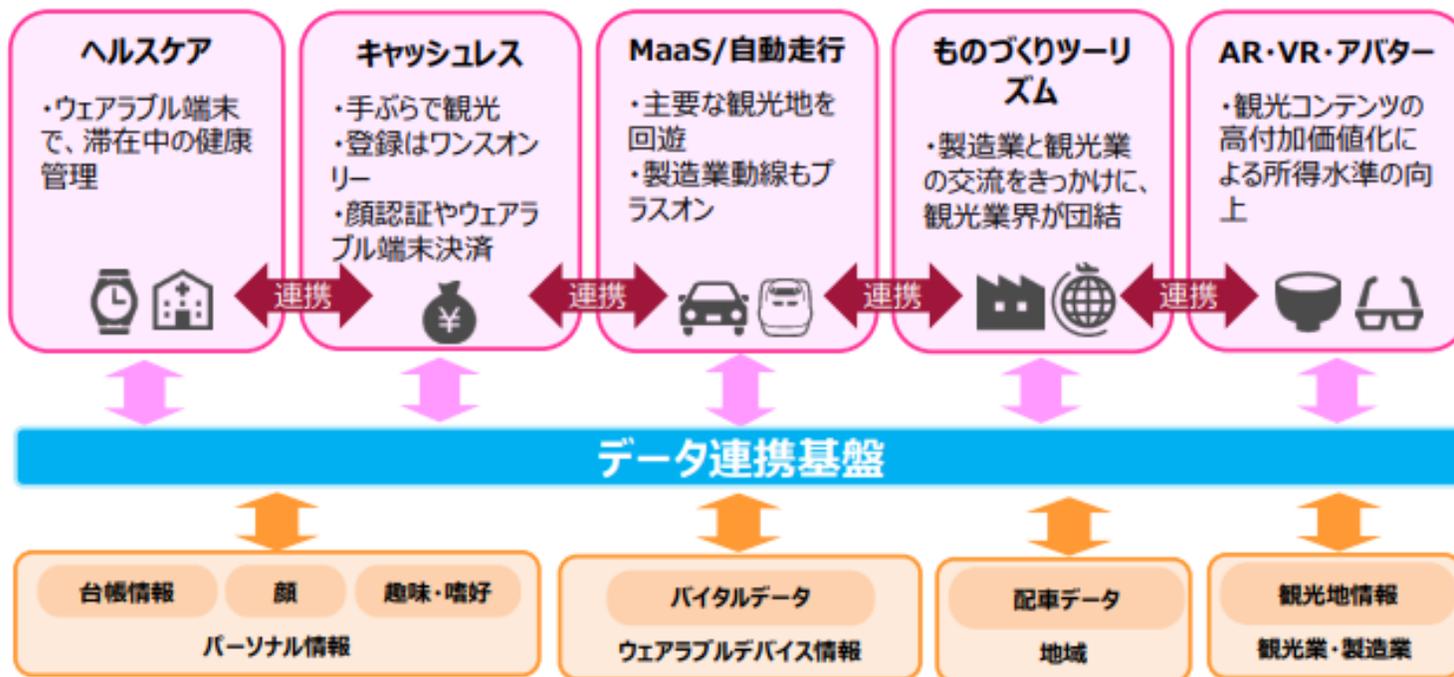
課題

- B市には、複数個所の有名な観光地がバラバラに点在しているが、観光地間の協力関係が弱く、一緒にプロモーションしないどころか、顧客を奪い合う関係になっている。
- また、市内では観光産業よりも、製造業の方が実質所得が高く、知名度を牽引しているが、課題が内在する観光産業と、光が当たらないながら、暮らしに余裕のある製造業という市民接点のひずみがある。



取組み

- 観光地を効率的に回遊する自動走行車両を導入。通常の観光動線に加え、製造業のものづくり体験もアドオンし、産業の壁を越えて“MaaSによるものづくりツーリズム”を実現。
- 観光客の個人認証においては、顔認証やワンズオンリー技術を活用し、域内完全キャッシュレスの利便性を高セキュリティで提供。
- 滞在中はレンタルを行うヘルスケアウェアラブル端末により、健康管理やキャッシュレスでの買い物（免税・クーポン・自宅配送）をフルサポート。
- 観光コンテンツの高付加価値化のため、伝統工芸の制作や着物体験とその誘客に、AR・VR・アバター技術を活用。



- 【想定される規制改革事項例】
- レベル4の自動運転車両（道路交通法、道路運送車両法）
 - 道路運送法の特例 等

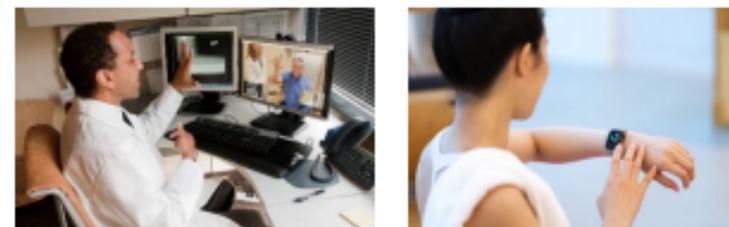
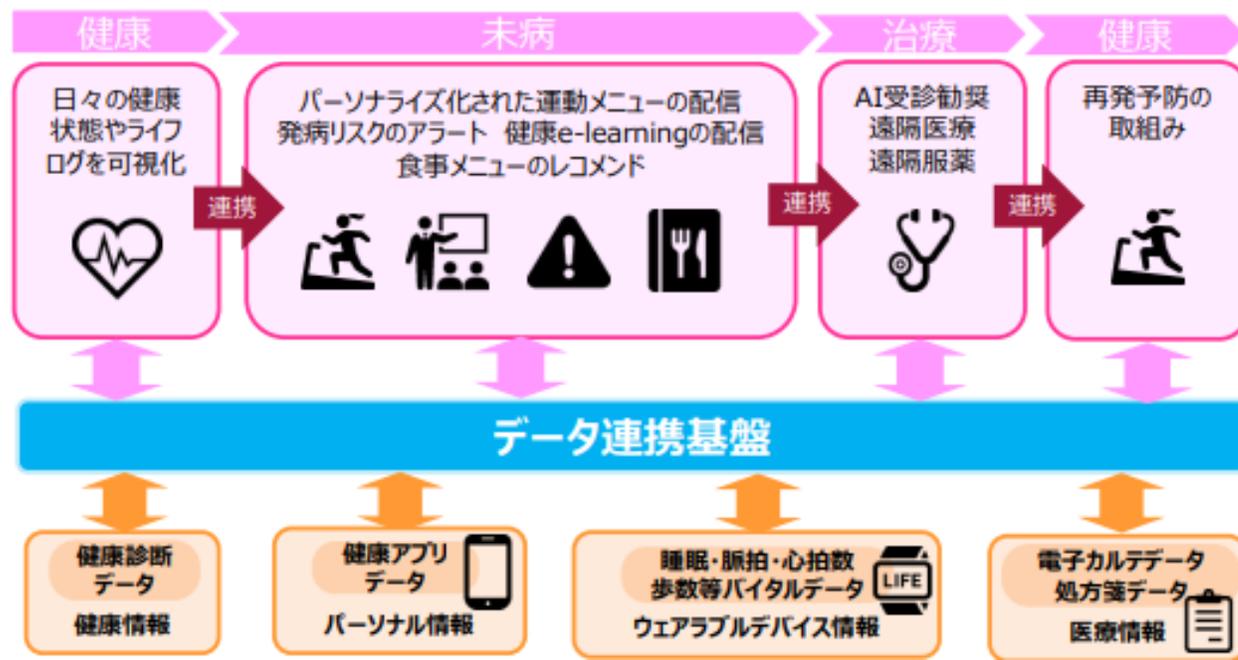
健康・未病・医療を繋ぐD市のヘルスケア構想

課題

- D市は、脳卒中死亡率全国ワースト1位であり、増大する医療費を中心に市の社会扶助費が逼迫。
- 市民の塩分摂取量が全国比で高く、また車社会であることが市民の歩行・運動不足を助長し、不健康な生活スタイルが蔓延。
- 市民を積極的に健康な生活へシフトさせ、健康寿命を延伸することが急務であり、未病と治療の垣根を超えた一貫したヘルスケアプログラムを実装したまちづくりにチャレンジ。**

取組み

- 運動や食事データ等のライフログや医療データを連携することで**健康～未病～治療のサイクルをシームレスに繋ぐヘルスケアプラットフォーム**を構築。
- あらゆる運動データをウェアラブルデバイスから収集。健康状態と突合し、**パーソナライズ化された運動メニューの推奨や、発病リスクのアラート、健康e-learningの配信**など、健康～未病に関わる取組みを健康アプリを通じて促進。
- 発病した際は、**自覚症状が出る前にAI受診勧奨**が行われると同時に、ライフログや健康診断データ等が電子カルテに統合され、**最適なオンライン診療とオンライン服薬**を可能にすることで未病～治療をシームレスに。
- 治療後は、**再発予防のためのパーソナライズ化された最適な取組み（運動・食事等）をレコメンド**し、健康維持を促進。



【想定される規制改革事項例】

- 遠隔医療（遠隔診療・服薬指導）に係る法令等の特例
- 遠隔医療（遠隔診療・服薬指導）に係るオンライン診療報酬の改定
- 混合診療における、保険診療と保険外診療併用の特例の拡大 等

2. スーパーシティに関する事項（新規追加）

①スーパーシティ区域の指定基準

- (i) 複数分野の先端的サービスの提供（概ね5分野以上を目安）
- (ii) 広範かつ大胆な規制・制度改革の提案と、先端的サービス等の事業の実現に向けた地方公共団体、民間事業者等の強いコミットメント
- (iii) 構想全体を企画する者である「アーキテクト」の存在
- (iv) 地方公共団体の公募による必要な能力を有する主要な事業者候補の選定
- (v) 地方公共団体による区域指定応募前の住民等の意向の把握
- (vi) データ連携基盤の互換性確保及び安全管理基準適合性
- (vii) 住民等の個人情報の適切な取扱い

②基本構想に関する住民等の意向の反映・確認

- ・ 基本構想の作成に当たっての住民等の意向の反映
区域会議が、協議会、区域に係る議会の議決、区域の住民の投票その他から、適切な方法を選択
- ・ 基本構想の内閣総理大臣への提出前の住民等の意向の確認
区域会議が、住民を対象とした投票によってその意向を確認することを基本としつつ、必要に応じ、追加的な意向確認の手続きを実施

③スーパーシティの実現に向けた支援措置

- ・ スーパーシティにおける先端的サービスの開発・インフラ整備等に、関係府省庁の事業を集中投資